

支那、防穀令

防穀令、起源ニ就テハ明瞭ナラズト雖モ從來發令セラレタル
モ、及外國條約ニ依リテ見レハ二種類アルモノ、如シ即左、
如シ

- 一 地方ヨリ穀類、移出ラ一切嚴禁スルモノ
- 一 國內、一地方ヨリ他、地方ニ移出ラ許スモ外國ニ輸出ラ
禁止スルモノ

外國輸出、禁止ハ千八百五十八年、天津條約ニ付帶ミタル
稅則ニ規定スル所ニシテ即「米及粳、小麥、粟、稔及蜀
豆類、玉蜀黍其、他、穀物」ハ輸出禁制品トシ穀物
ノ輸入ハ無稅ト記載アリ爾後北清事變後、最終議
定書ニ依ル關稅改正、際モ亦穀物及穀粉、輸入ハ無
稅トセリ要スルニ天津條約時代、輸出稅則ハ今尚ホ

シラシロ
和

實施セラレ隨テ穀物ハ輸出禁制ヲ原則トスルモ豊年
ノ場合ニハ特ニ地方長官カ當業者ノ申請ヲ容レ數
量ヲ限リテ往々輸出ヲ許可スルコトアリ即別表第一
ノ如シ此ノ如ク特許ニ依ルノ外輸出スルコトヲ得サルヲ以テ
年ニ依リ輸出額ニ大差アルノミテラス輸出ノ進歩ヲ示サ
サルハ蓋シ止ムヲ得サルナリ

元來防穀令ハ交通ノ開ケサル時代ニ於ケル過去ノ遺
物ニシテ我國ニ於テモ慶應二年條約ニ於テハ穀物ノ
輸出ヲ禁止シタルカ明治六年解禁令ヲ發布シタル以
來内地ノ産業ハ著シク進歩ヲ告ケタリ然ルニ支那ニ於
テハ今尚ホ防穀制ヲ固守スルカ爲メ同國ニ於ケル農
業ノ發達ヲ阻害スルコト尠ナカラズ江蘇、浙江、湖南
各省ノ如キ土地豊穰ニシテ所謂天興ノ富源ヲ有ス

ル地方ニ於テハ農産物ノ收穫ヲ増加スルモ輸出ノ道
ナキカ爲自然價格下落スルヲ以テ農家ハ更ニ農作ノ
改良ヲ圖ルコトナク寧口遊惰ニ耽ルノ惡風アルハ其ノ
地方在住ノ外國人又ハ旅行者ノ異口同音ニ唱ケル
トコロナリ然ルニ輸出ヲ禁止セサル農産物ノ輸出状況ヲ
見ルニ別表第一ニ示ス如ク豆類ハ十五箇年間ニ約八
倍ニ増加シ同年間ニ麻類ハ約三倍ニ、胡麻ハ十倍余
ニ又繰綿ハ支那内地ニ於テモ既ニ百萬鍾以上ノ紡績
工場ヲ有シ原料ノ需要年々増加シタルニモ狗ハラス
輸出ノ増加ヲ來シ又落花生及菜子ハ十三箇年ニ共
ニ拾倍ノ輸出額ヲ見ルニ至レリ穀物ノ如キモ一朝輸出
ノ解禁ヲ見シカ地方ノ産業ハ著シク發達シ隨テ國
力ノ増進ヲ來ス一キハハस्ताノ辯ヲ要セサルニ蓋シ一面

ニハ穀物ノ輸出ヲ解禁スレハ食料ノ自給ヲ爲スニトテ得
サルヘキヲ憂フルモノナキニアラサルヘキモ今日ニ於テスラ一
方ニ於テ甚タシク穀物ノ堆積ヲ見ル場合ニモ他ノ地
方ニ於テハ其不足ヲ訴ヘ外國ヨリ輸入ノ必要アルハ別
表第三ニ示スカ如シ

又地方ヨリ穀物ノ輸出ヲ嚴禁スル場合ハ或ル一地方
カ凶作ノ場合ニ穀價騰貴ニテ騷乱ノ恐アルトキ等
ニ臨機ノ處分トモテ地方長官カ發令スルモノニモテ
其期間ハ概テ次ノ收穫期ヲ超エルコトナシ此禁止
ハ一時的ノモノニモテ假令輸出解禁ノ後ト雖モ同國
ノ現狀ニ照ストキハ此ノ如キ措置ヲ採ルノ必要ナル
場合アルヘシ

之ヲ要スルニ防穀令廢止ノ可否ヲ考フルニ

(一) 不可トスル點

我國ニ對スル點

支那ニ於テ米作豐饒ニシテ價格暴落ノ場
合ニハ我米價ニ影響ヲ及ス、虞アリ其結
果關稅増徴ノ問題ヲ惹起スルコトナキヲ保
シ難シ

支那ニ對スル點

支那ハ米食國ナレトモ其全体ヨリ通覽スレ
ハ供給ハ需要ヲ充タスニ足ラサルヲ以テ輸出
解禁ノ曉ニハ供給愈減少ニテ穀價騰貴
ニ細民困厄スルノ傾向アラシ

(二) 可トスル點

我國ニ對スル點

(イ) 防穀令、撤廢ハ將來本邦人カ支那ニ於テ農業經營、為有利ナルヘシ

(ロ) 支那カ防穀令ヲ廢止スルニ至ラハ本邦ニ於テ穀物不足、場合ニ供給ヲ受クヘキ範圍擴張スルヲ以テ各地、市況ヲ比較シ安價ナル地方ヨリ輸入スル、便アリ

支那ニ對スル点

(イ) 支那ニテハ解禁、結果穀價騰貴ニ農民ノ所得ヲ増加スルト同時ニ農業、開發進歩ヲ促スコトヲ得ヘシ

(ロ) 支那ハ大体ニ於テ農業國ナルヲ以テ農民、所得増加シ其、購買力増進スレハ商工業、勃興ヲ來スコトトナルヘシ

結論

前記、利害ヲ比較考究スルニ防穀令解禁ニ伴フ穀價、騰貴ハ農業、開發ニ依ル勞働、増加ニ依リテ償フヲ得ヘキヲ以テ其弊害ハ比較的少ナルヘシ之ニ反シ同令ヲ撤廢スル、利ハ右ニ挙ケタルカ如ク大ニミテ支那ニ於ケル國力、増進ハ彼我貿易、發展ヲ促ス、源泉トナル、ミナラス間接、利益又少ナカラサルヘキヲ以テ防穀令、撤廢ハ時機ニ適シタルモノト認ム

第一表

支那ヨリ穀物輸出額表

年	担	米	小麦	高粱	穀類	小麦粉
一九〇五年	担					
一九〇六年	担					
一九〇七年	担					
一九〇八年	担					三六九、四四五
一九〇九年	担					一三四一、七一〇
一九一〇年	担		三一九九、一八六		九〇、二二九六	八〇三、二七三
一九一一年	担		三、八三三、七六〇		三六五八、五九〇	三〇五、一八九五
一九一二年	担		一、九〇六、一八一		六六九、八八九	
一九一三年	担		三、八〇三、九七一		五二二、七九九	
一九一四年	担		一、八四八、〇八一		六三七、四八四	
一九一五年	担		四、七六六、五〇五		三、二六九、九六八	
一九一六年	担		一、九六九、〇四八		二一、二七〇	一一九、四五二
一九一七年	担		三、八五〇、一七九		一〇〇、四五三	五一六、九九七
一九一八年	担		三、八五〇、一七九		一七、一〇九	六九、九三一
一九一九年	担		四、〇六、五八八		八三、四七〇	三三九、八三九
一九二〇年	担		二、五二四、五三六		二一〇、八五〇	
一九二一年	担		四、〇六、五八八		二一〇、八五〇	
一九二二年	担		二、五二四、五三六		二一〇、八五〇	
一九二三年	担		四、〇六、五八八		二一〇、八五〇	
一九二四年	担		二、五二四、五三六		二一〇、八五〇	
一九二五年	担		四、〇六、五八八		二一〇、八五〇	

支那ヨリ穀物輸出額表

一九〇五年 担

一九〇六年 担

一九〇七年 担

一九〇八年 担

一九〇九年 担

一九一〇年 担

一九一一年 担

一九一二年 担

一九一三年 担

一九一四年 担

一九一五年 担

一九一六年 担

一九一七年 担

一九一八年 担

一九一九年 担

一九二〇年 担

一九二一年 担

一九二二年 担

一九二三年 担

一九二四年 担

一九二五年 担

採木公司拂下問題解決意見

大藏省

一九一五年	一九一四年	一九一三年	一九一二年	一九一一年	一九一〇年	一九〇九年	一九〇八年	一九〇七年	一九〇六年	一九〇五年	
兩担	兩担	兩担	兩担	兩担	兩担						小
一〇三三八	二五八六	三一九〇	六二二五	七四八九	九三九五	三九七八					麥
一三三〇	三三〇一	九三〇六	一三九六	一四九六	二五八二	九七〇九					具
											他

大藏省